



左官の技術を活かした壁やおおらかな造りが特徴

しっくい 漆喰壁に描かれた 漆絵も みごとな造り酒屋

本郷通りの南側に、どっしりとした構えを見せる旧大川酒店は、明治34（1901）年頃に建てられました。木造2階建てで、波の棟飾り、正面および東側の鍔絵が描かれた漆喰壁が印象的です。ここで「清酒五岳」を造り始めたのは大正12（1923）年で、敷地内には精米所や醸造蔵もありました。

西側には、木造2階建て瓦ぶきの洋風建築があります。これは大川酒店の応接間とし

て使われていた新屋で、昭和12（1937）年に建てられました。伝統的な和風建築の母屋としゃれた西洋館が隣り合い、当時の大川酒店の勢いのほどをうかがわせます。

